

②B—32 婦人服の流行の変遷
第一次欧州大戦後から現在まで
(1925年～1963年)

福岡女学院高 菊次 初子

1. 現在の婦人服を知るために少なくとも、過去30年～40年間の動きを整理して、その流行の根源を明確にしたいために研究する。
2. 外国、国内の文献及び実物製作による。
3. 第2次大戦後の衣服の流行は、それ以前の流行とは全然異なって、東洋調なるものから、東洋的造形が内部に浸潜して、現在の一般の衣服にまで浸透しているので、この辺りの研究なくしては、今後の婦人服は理解され難いのではなかろうか、その点よい勉強になった。